

総合科学部

■社会総合科学科

人文・人間・社会・地域・情報等の諸科学における専門知識や専門技能、技術を身につけるとともに、専門分野の融合を図ることでグローバル化する現代社会の諸問題や地域課題を的確に理解し、問題解決に対応し得る実践的な人材の育成を目的としています。

●求める人物像

関心・意欲・態度

グローバル化、少子高齢化、健康社会づくり、地域活性化などの社会的課題や地域課題に関心をもち、総合的な視点から問題解決を志向しようとする人。人文科学・人間科学・社会科学・地域科学・情報メディアの分野に関心をもち人。21世紀型社会の創生に向けて貢献する進取の精神をもつ人

表現力

自分が伝えたいことを的確な表現を用いて相手に示すことのできる人

知識・教養

本学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき*理系も含めた基礎的な知識・教養を身につけた人
思考力・判断力

今までの知識・教養をもとに思考を深めて適切に判断できる人

協働性

問題解決のために、国籍や世代、考え方にとらわれることなく、対等の立場で協力できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

英語—グローバル化社会に求められる読解と表現（作文）に関わる幅広い基礎知識及びコミュニケーション力

地歴・公民—日本を含む世界の出来事に対する関心と、諸地域の地理・歴史についての基礎知識
数学、理科—理系分野の基礎的内容を理解し、論理的に考える力

●入学選抜の基本方針

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では「知識・教養」「思考力・判断力」を、個別試験では「表現力」「思考力・判断力」をそれぞれ評価し選抜します。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）＜活動実績重視型＞

書類審査で高等学校等時代での部活動、校外活動、芸術及びスポーツ等のいずれかの分野ですぐれた実績を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、面接では前述の実績を基にしたリーダー的存在となりうる資質を「関心・意欲・態度」「表現力」の面から評価し、以上を総合して選抜します。

推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）＜英語能力重視型＞

書類審査で英語のすぐれた能力、異文化理解能力を有する者を評価します。小論文では本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力として「表現力」「思考力・判断力」を評価し、英語及び日本語での面接では英語のスピーチや会話によって英語の運用能力に関わる「関心・意欲・態度」「表現力」を評価し、以上を総合して選抜します。

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す：5(6)教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入試センター試験5(6)教科型（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）の採点方式で、広範囲にわたり習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価します。書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を、面接では入学後に期待される学術的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面からそれぞれ評価し、以上を総合して選抜します。

推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す：3教科型）＜主体性・表現力重視型＞

大学入試センター試験3教科型（国語、外国語、地歴・公民、数学）の採点方式で、いずれかの科目での高<習熟した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、書類審査では高等学校等時代での教科、部活動、校外活動で培った「関心・意欲・態度」「協働性」を評価します。面接では、入学後に期待される学術的指向性を「関心・意欲・態度」「表現力」の面からそれぞれ評価し、以上を総合して選抜します。

●入学者選抜方法における選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分*	選 抜 内 容
小論文	一般（後期）	社会的な課題に関する基礎的な能力（関心、理解力、表現力）を判定する。
小論文	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	本学部で勉学するにあたっての基礎的な能力（論述能力、表現力等）を判定する。
集団面接	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	複数の面接担当者による集団面接を行う。推薦Ⅰ（活動）では、本学部の教育分野に強い関心と積極性をもつ者で、高等学校等時代に部活動、校外活動、芸術及びスポーツ等のいずれかの分野ですぐれた実績を有すること、入学後はその経験を活かしてリーダー的存在となりうる資質について判定する。推薦Ⅱでの評価にあたっては、積極性、思考態度、専攻したい領域に対する意欲、より広い分野への関心の有無及び将来性等の項目について判定する。
個人面接 （スピーチ等含む）	推薦Ⅰ（英語）	「関心・意欲・態度」「表現力」を、英語によるスピーチの内容、パフォーマンス、質疑応答での英語力、会話・コミュニケーション力に即して判定する。
志望理由書	推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	本学部に対する志望動機、本学部の教育分野に対する強い関心、専攻したい領域に対する強い意欲について、高等学校の生活等の状況を踏まえて、評価する。
指定調査書	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	活動実績重視型では、志望理由および高等学校等での教科外活動状況（部活動・生徒会活動・校外活動、大会・競技会・展覧会等での成績等および資格・免許等）を評価する。英語能力重視型では、志望理由と英語で記入した課題作文を評価する。
調査書**	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	高等学校での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を重点的に評価し、学習の記録を参考とする。資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合は、面接においても参考資料とする。

●入学者選抜方法における重点評価項目〔入学者選抜方法と求める人物像との関係性〕

入学者選抜方法	該当選抜区分*	関心・意欲・態度	表 現 力	知識・教養	思考力・判断力	協 働 性
(センター試験)	一般（前期） 一般（後期） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)			○	○	
個別学力検査 < 教 科 >	一般（前期）		○	○	○	
小論文	一般（後期） 推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）		○		○	
集団面接	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	○	○			
個人面接 （スピーチ等含む）	推薦Ⅰ（英語）	○	○			
志望理由書	推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	○				○
指定調査書	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語）	○		○		○
調査書**	推薦Ⅰ（活動） 推薦Ⅰ（英語） 推薦Ⅱ(5) 推薦Ⅱ(3)	○				○

* 該当選抜区分内の「（活動）」は「活動実績重視型」、「（英語）」は「英語能力重視型」、「(5)」は「5(6)教科型」、「(3)」は「3教科型」を示す。

** 一般入試（前期）、一般入試（後期）においては調査書を参考とする。